

地域課題・目指す将来像

地域課題

- 多くの農家は高齢化や人手不足が深刻であり、生産性に問題が生じている。
- 道の駅に毎朝出荷するには、農家自ら軽トラ等により出荷しているが負担を感じている方が多く、道の駅が品薄になったときの追加出荷も大きな負担である。道の駅の品揃えは集客に直結するが、迅速な補充ができておらず、生産者の所得減にもつながっている。
- まちの公共交通機関が脆弱なため高齢者による買い物弱者が増加傾向にある。

将来像

- ドローンによる集出荷による作業の効率化が図られ、生産者の所得向上、担い手確保につながる。
- 災害時にはドローンを活用し、孤立集落対策につなげ、さらに、有害鳥獣対策や、遠隔診療と併せた薬の配送などを実装する。
- 中山間地域において誰もが活躍し、多様性に富む豊かで安心安全な地域社会をつくり、地域の交流を通じて地域共生社会を実現する。

推進体制

名称：都農町未来技術社会実装事業協議会

地方公共団体	都農町
国（★は現地支援責任者）	★内閣府 農林水産省 国土交通省 警察庁 総務省
民間事業者	ワールドワイドトレード(株) (株)都農まちおこし屋 (株)NTT西日本 (株)USEN NETWORKS

課題解決に向けた取組

①ドローンを活用した新産業創出【ドローン】

- ・ 中山間地域など地域課題の解決に向けた実証実験
- ・ 道の駅を拠点とした農産物の集荷業務における事業化
- ・ 日用品や医薬品といった生活必需品の宅配業務
- ・ 防災DXプラットフォームを導入し、災害時と平常時の利用体制の構築
- ・ 農地・山林のデータを活用した鳥獣被害対策に向けた取組み



道の駅を拠点とした物流ネットワーク（イメージ）